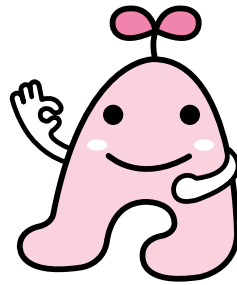


エコアちゃん

環境貯金箱作戦

進行中!



ごみ減量イメージキャラクター
エコアちゃん

ごみを減らした成果をお金でお知らせする「環境貯金箱作戦」。四月にこの作戦をスタートしてから八か月目になりました。貯金はどのくらいたまったか、作戦の進み具合をチェックしてみましょう。



問い合わせ

環境企画課 〒011-0904寺内蛭根三丁目24-3
tel(863)6632 ファクス(863)6630
Eメール ro-evrc@city.akita.akita.jp

「ごみ1トン減れば
千154円の環境貯金

ごみ処理には毎年四十億円ほどの経費がかかっています。この環境貯金箱作戦は、市民一人ひとりがごみを減らすことにより、ごみ処理経費を節約し、節約したお金を環境のために有効活用しようというものです。

ごみを減らすことで、ごみ処理に伴う二酸化炭素の発生を抑え、地球温暖化の防止にもつながります。

対象となるのは、各家庭や事業所から出る家庭ごみと粗大ごみ。総合環境センターのごみ焼却炉に運ばれてくるこれらのごみが減れば、その分、処理経費も減り、貯金箱にお金がたまっていく仕組みです。

ごみの量は平成十四年度の月ごとの量を基準にし、それと比べて増えたか減ったかで、貯金の額を計算しています。ちなみに、ごみを一トン減らすと、千五百四十四円が貯金箱に入る計算となっています。

10月でようやく
持ち直す

今年度は、四千トンのごみを減



環境貯金箱作戦キャンペーン

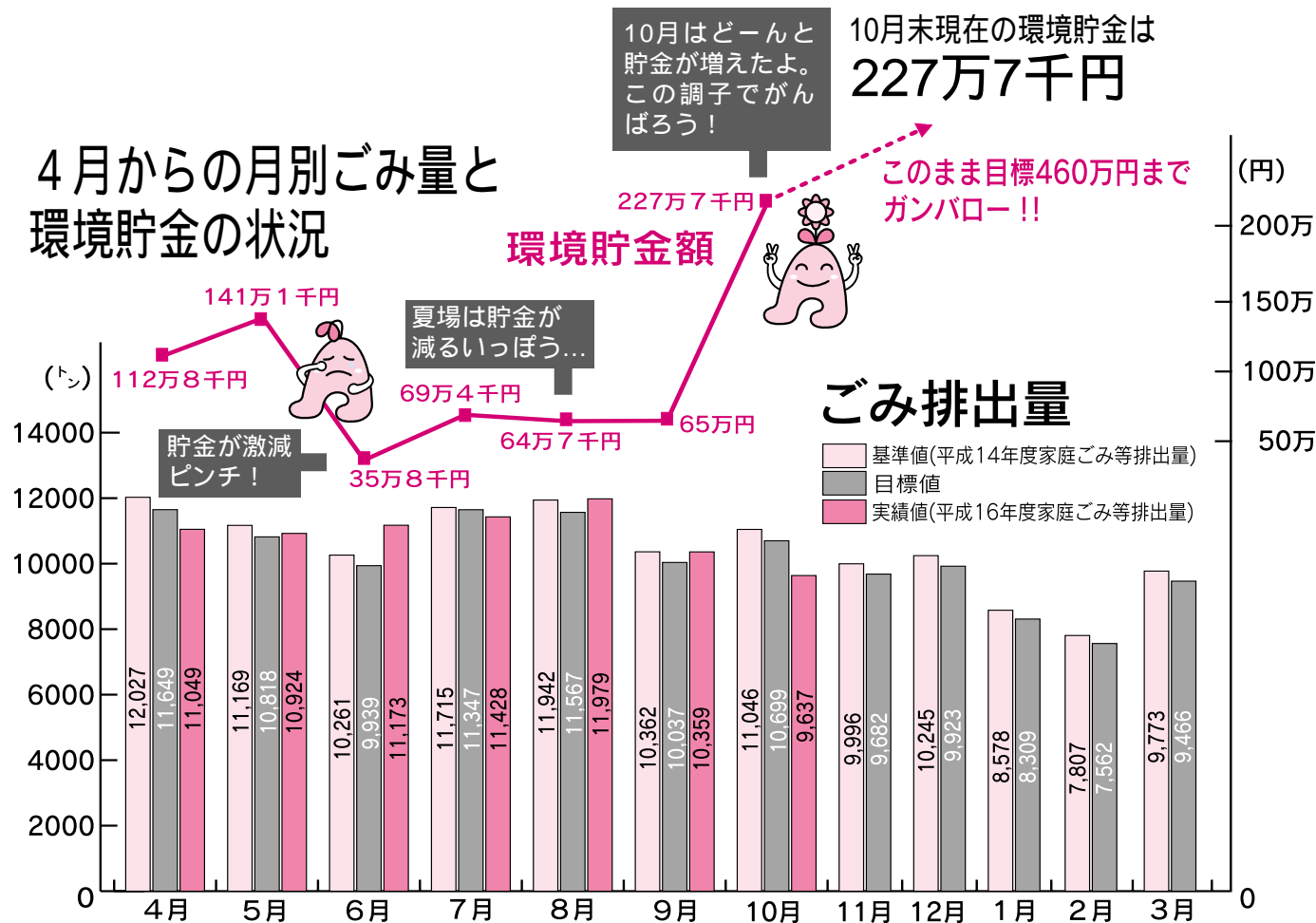
量し、四百六十万円を環境貯金箱に貯めるのが目標です。

四月、五月は順調に作戦が進んだものの、夏になると、なかなか貯金できない状態が続きました。気温が高い夏は、食べ物が傷むのが早いので、生ごみが出やすく、ごみが増えがち。それに加え、今年の夏は例年よりも台風が多く、木の枝などのごみが増えました。また、ごみの量は重さで量っていますが、雨の日が多いとごみが濡れて、その水分の重さが影響する場合もあります。

貯金額が持ち直したのは十月。一気に百六十万円以上、貯金を増やすことができました。なぜごみが減ったのか、はっきりとはわかりませんが、市民のみなさんのごみ減量意識が定着してきていることは確かです。今年の十月は十四年の十月と比べ、ごみの量が千五百トンも少な

貯金箱をあけてみよう！

4月からの月別ごみ量と環境貯金の状況



今年度の目標 貯金額 460万円
ごみ減量 4,000ト

年間目標額まで
あと**232万3千円**(2,027トの減量)

毎月のごみの量と節約されたごみ処理経費「環境貯金」は、市役所一階ホールと総合環境センターにある環境貯金箱に掲示しているほか、広報あきたでもお知らせしています。

い、うれしい結果となりました。この調子でがんばりましょう！

ごみ減量は冬が頑張りどころ

十月に貯金が増えたといっても、まだ目標額の半分以下です。目標を達成するためには、あと五か月で約二千トのごみを減らさなければなりません。

冬は例年ごみの量が減る時期。これからの頑張りどころです。いつもの生活に何かひとつ、ごみを減らす行動をプラスしてみましょ。

貯金の使いみち、考えてください

一年間で環境貯金箱にたまったお金の使いみちは、市民のみなさんからアイデアを募集し、有効活用します。秋田市の環境をもっとよくするようアイデアをお寄せください。

いい考えが浮かんだら、環境貯金箱に備え付けの用紙にその内容や意見を書いて、環境貯金箱のご意見投入口に入れてください。ファクスや郵送、メールで環境企画課へ送っていただいても結構です。楽しいアイデアをお待ちしています。